

松山大学中期計画2024-2028

長期ビジョン	重点項目	中期目標	施策	具体的目標	実施計画					測定指標	
					2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度		
I 教育におけるビジョン～「実り」をもたらす教育活動を～											
1. 学修意欲を刺激するための仕組みをつくり、主体的な学修をうながし、学生が自身の成長を実感できる教育を推進します。											
1. 教育の質の向上の推進	1) 教育手法の改善と活性化	1) 教育手法の改善と活性化	1) 教育手法の改善と活性化	(1) 教育手法に関するFDの開催及び研修の講師となれる学内者を増加させる	●	●	●	●	●	FD講師数	
				(2) アクティブラーニングの手法を取り入れた科目数を70%以上とする	●	●	●	●	●	アクティブラーニングの実施授業数	
				(1) 同一科目の成績評価基準を整備する	●	●					
	2) 教育の質を向上させる制度の改善	2) 教育の質を向上させる制度の改善	2) 教育の質を向上させる制度の改善	(2) 新しい教育制度（学期、授業時間、Blended学習など）の検討	●	●					履修人数
				(3) 履修条件、履修人数の適正化について検討する	●	●					GPAを使った取組み数
				(4) GPAを活用した取組みを増加させる	●	●	●				
3) 教育成果の可視化の推進	3) 教育成果の可視化の推進	3) 教育成果の可視化の推進	(5) 教育評価を実施する	●	●	●	●	●		教学IRの活用件数	
			(1) 教学IRの体制を強化する	●	●	●	●	●			
			(2) 教育の「質」の測定指標を決定する	●	●						
2. 主体的な学修を促す取組みの推進	1) 学習の目標の明確化	1) 学習の目標の明確化	1) 学習の目標の明確化	(3) アセスメントポリシーを見直す	●	●					
				(4) アセスメントポリシーに基づいてカリキュラムを評価する	●	●	●	●	●		
				(5) 3つのポリシーとカリキュラムマップ等に基づくカリキュラムの検証・改善を行う	●	●	●	●	●		
	2) 学習成果の可視化の推進	2) 学習成果の可視化の推進	2) 学習成果の可視化の推進	(6) 学生データの分析方針を確立する	●	●					
				(1) 人材育成モデルを策定する	●	●	●				
				(1) 各種アンケート調査を整理し、実施方法を見直す	●	●	●	●	●	卒業生アンケートの実施件数と回収率	
2. 社会の多様な課題を解決する能力を身につけるために、基礎と理論に基づいた実践的な教育を実施します。											
1. 学生の課題解決力を高める取組みの推進	1) 課題解決型授業の推進	1) 課題解決型授業の推進	1) 課題解決型授業の推進	(1) 地域課題を題材とした科目を検討し、開講する	●	●	●			科目数	
				(2) 企業等との連携授業の科目数を増加させる	●	●	●	●	●	科目数	
	2) 課題解決力向上のための教育プログラムの検討	2) 課題解決力向上のための教育プログラムの検討	2) 課題解決力向上のための教育プログラムの検討	(3) プロジェクト型学習(PBL型学習)の科目数を増加させる	●	●	●	●	●	科目数	
3. 全学共通教育の基盤を再構築し、充実した教養教育、初年次教育、キャリア教育を提供します。											
1. 全学共通教育の充実	1) 全学共通教育の基盤作り	1) 全学共通教育の基盤作り	1) 全学共通教育の基盤作り	(1) 全学共通教育プログラムの方針を策定する	●	●					
				(2) 全学共通教育プログラムの実施体制を整備する	●	●					
	2) 教養教育の充実	2) 教養教育の充実	2) 教養教育の充実	(1) 教養教育の方針と内容を確立する	●	●					
				(2) 教養教育の実施体制を再構築する	●	●					
	3) 初年次教育プログラムの導入	3) 初年次教育プログラムの導入	3) 初年次教育プログラムの導入	(1) 入学後の学習意欲と学習成果に関する分析体制を整備する	●	●					
				(2) 初年次教育プログラムの内容を確立する	●	●					
				(3) 初年次教育の実施体制を構築する	●	●					
				(4) 初年次教育を実施する	●	●	●	●	●		
4) キャリア教育の実質化	4) キャリア教育の実質化	4) キャリア教育の実質化	(5) 自校史教育を導入する	●	●	●	●	●			
			(1) 体系的な正課キャリア教育プログラムの内容を確立する	●	●				キャリア教育科目数		
4. 多様な分野の知見を融合させた時代に対応した教育課程を設置します。											
1. 学際的な教育課程の導入	1) 学際的な教育課程の導入	1) 学際的な教育課程の導入	1) 学際的な教育課程の導入	(2) 教育活動としてのインターンシップを導入する	●	●	●	●	●	教育インターンシップ受け入れ企業数、科目数	
				(3) 正課のキャリア教育を実施する	●	●	●	●	●	キャリア教育科目数	
5. ICTの活用を推進し、先進的な教育環境を整備します。											
1. ICTを活用した教育の促進	1) 効果的なオンライン教育の実施	1) 効果的なオンライン教育の実施	1) 効果的なオンライン教育の実施	(1) 効果的なオンライン授業の在り方を確立する	●	●	●	●	●	オンライン授業数	
				(2) 確立された内容でのオンライン授業を実施する	●	●	●	●	●	FD開催件数	
2. 先進的な教育環境の整備	1) 先進的な教育環境の整備	1) 先進的な教育環境の整備	1) 先進的な教育環境の整備	(2) 自主学習に対するICT活用方法に関するFD等を開催する	●	●	●	●	●	FD開催件数	
				(1) 情報インフラ整備計画を策定する	●	●					
				(2) ネットワーク環境を強化し、接続率100%とする	●	●	●	●	●	情報通信環境アンケート	
				(3) 学生データをデータベース化する	●	●	●	●	●		
6. 教育目標の達成に必要な素養を持った入学生を受け入れるため、入試制度の見直しを継続的に進めます。											
1. 入試制度の改善	1) 入試戦略に関わる体制の構築	1) 入試戦略に関わる体制の構築	1) 入試戦略に関わる体制の構築	(1) 入試戦略を決める会議体を設置する	●	●					
				(2) 志願者増につながる制度設計と入試科目設定を行う	●	●					
2. 高大接続の活性化・高校との連携強化	1) 高大接続の内容の見直しと体制整備	1) 高大接続の内容の見直しと体制整備	1) 高大接続の内容の見直しと体制整備	(3) 入試結果について組織的に分析し、全学的な戦略を策定する	●	●	●	●	●		
				(1) 高大接続のプログラムを見直す	●	●				高大接続プログラム数	
				(2) 高校からの情報収集体制を整備し、担当者を配置する	●	●					
II 学生支援におけるビジョン～「実り」のある学生生活を～											
1. 学修及び生活環境に対するサポート体制を充実させ、正課外活動に効果的な支援を行います。											
1. 正課外活動の充実	1) 正課外活動への効果的支援の促進	1) 正課外活動への効果的支援の促進	1) 正課外活動への効果的支援の促進	(1) 正課外活動支援の方針を策定する	●	●	●	●	●		
				(2) 正課外活動支援を予算的な配分も含めて再整備する	●	●					
				(3) 正課外活動に対する寄付金等の獲得に向けた案を策定する	●	●	●			寄付金件数及び金額	
2) 支援体制の周知方法の改善	2) 支援体制の周知方法の改善	2) 支援体制の周知方法の改善	2) 支援体制の周知方法の改善	(1) 支援体制・制度の認知度を向上させるための方策を策定する	●	●	●	●	●		
				(2) 学生の認知度を75%以上とする	●	●	●	●	●		
				(1) 学修支援の方針を策定する	●	●					
3) 学修支援の見直し	3) 学修支援の見直し	3) 学修支援の見直し	3) 学修支援の見直し	(2) 学修支援の実施体制を整備する	●	●	●				

長期ビジョン	重点項目	中期目標	施策	具体的目標	実施計画					測定指標	
					2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度		
				(1) 学生支援方針を見直す (2) 教員及び職員の理解度を高めるために、SD等を実施し参加を80%以上とする (3) 学生支援体制の周知方法の改め、認知度を75%以上とする	●	●	●	●	●	SD開催件数、参加者数 学生アンケート	
2. 学生生活の充実											
2. 学生生活の場としてのキャンパスの整備と活性化を推進します。											
			1) 学生支援体制の改善	(1) キャンパス構想を策定する (2) キャンパス整備計画を策定する	●	●	●				
			1) キャンパスの再整備	(1) キャンパスDXの検討 (2) ネットワーク環境を強化し、接続率100%とする(前掲1-5-2-1)-(2) (3) 図書館の役割と機能を見直す	●	●	●	●	●		
			2) キャンパスの活性化		●	●	●	●	●		
3. 学生の自己実現を応援するための奨学金制度を充実させます。											
			1. 自己実現のために行動できる学生の増加	1) 奨学金・奨励金制度の再整備	(1) 奨学金制度の全体方針を策定する (2) 各種奨学金制度・奨励金制度を整理する (3) 補助金申請型奨学金制度案を策定する (4) 学生支援に関する企業奨学金を獲得する (5) 奨学金等の周知方法を改善し、認知度を75%以上とする	●	●	●	●	●	学生アンケート
4. 多様なことに挑戦する学生を支援する体制を構築します。											
			1. 在学中に主体的に行動する学生を増やす	1) 学生が主体的に行動するきっかけ作り及びサポート体制の構築	(1) 学生の挑戦を後押しする体制を策定する (2) 組織的に学生プロジェクトを企画し、実施する	●	●	●	●	●	学生プロジェクト数
5. 学生一人ひとりのステージに合わせた体系的なキャリア支援体制を構築します。											
			1. 学生満足度の高い就職活動・進路選択の実現	1) キャリア教育の促進	(1) キャリア教育(正課、正課外)の方針を策定する (2) キャリア教育の実施体制を再構築する (3) 体系的な正課キャリア教育プログラムの内容を確立する(前掲1-3-1-4)-(1))	●	●	●	●	●	キャリア教育科目数 学生満足度調査、企業調査
			2) 就職支援の強化	(1) 学生満足度調査及び企業調査を実施する (2) 採用企業との連携を強化する方策を策定する (3) 就職活動モデルを策定する (4) ポートフォリオと連携する	●	●	●	●	●	●	
III 研究におけるビジョン～「実り」につながる研究活動を～											
1. 他大学や企業等との共同研究や産官学連携を推進します。											
			1. 産官学連携の推進	1) 産官学連携の共同研究への協力企業・参加教員を増やすための体制作り	(1) 企業等も含めた学外研究者の受け入れ体制を整備する (2) 企業等と研究者のマッチングシステムを構築する (3) リサーチ・アドミニストレーションシステムを整備する (4) 寄附研究室のモデルケースを策定する (5) 研究者及び研究分野の学外公開方法を見直しHP等で発信する	●	●	●	●	●	HPの閲覧数
2. 地域課題の解決に向かう研究を推進します。											
			1. 研究における地域貢献の推進	1) 地域との連携強化と発信強化	(1) 地域課題に関する情報収集及び整理体制を構築する (2) 地域課題等の実施をサポートする支援体制を強化する (3) 教員に案件情報を提供し、地域課題の解決に向かう新しい研究を実施する	●	●	●	●	●	課題研究数
3. 専門分野を超えた学際的研究を推進します。											
			1. 学際的研究の推進	1) 研究者間の連携強化	(1) 学際的研究を促進するための助成金等を整備する		●	●			学際的研究の申請件数
4. 研究内容や成果を社会貢献につなげる仕組みを構築します。											
			1. 研究成果の可視化の推進	1) 研究成果の発信方法の改善	(1) 各研究者の研究成果の発信方法を見直し、HP等で発信する (2) 研究者及び研究分野の学外公開方法を見直し、HP等で発信する(前掲III-1-1-1)-(5) (3) リサーチ・アドミニストレーションシステムを整備する(前掲III-1-1-1)-(3))	●	●	●			HPの閲覧数 HPの閲覧数
IV 社会貢献におけるビジョン～「実り」を生み出す社会貢献を～											
1. 地域の教育機関、自治体、企業、団体等との連携を強化します。											
			1. 地域の教育機関、自治体、企業、団体等との連携の強化	1) 地域の教育機関、自治体、企業、団体等との連携事業の増加	(1) 新しい企業連携アライアンスを構築し、参加企業を100社以上とする (2) 愛媛県下の15以上の自治体(市町)と連携する (3) 連携協定先との連携事業数を25%増加させる (4) 社会連携の取り組みの発信方法を見直し、リリース記事を25%増加させる	●	●	●	●	●	参加企業数 連携自治体数 連携事業数 社会連携関連のリリース数
2. 小中高生を含む地域の様々な年代に対して学びの機会を提供します。											
			1. 教育活動での地域貢献の推進	1) 学内での取組みの強化 2) 学外での取組みの強化	(1) 参加教員数を25%増加させる (2) 学外向け講座(コミカレ・公開講座等)を見直し、新しい案を策定する (1) 学校訪問型講座数を25%増加させる (2) 小中学校との連携活動を実施する	●	●	●	●	●	参加教員数 講座数、コミカレ参加者数 講座数、訪問学校数 連携小中学校数
3. 学生の成長につながる社会連携活動を拡大していきます。											
			1. 学生の成長につながる社会連携活動の増加	1) 学生参加型社会連携の推進	(1) 学生による訪問型講座の体制を整備し、実施する (2) 地域連携事業参加学生への支援体制を見直し、参加学生数を25%増加させる	●	●	●	●	●	参加学生数、訪問先件数 参加学生数、事業件数
4. リカレント、リスクリング教育等を推進します。											
			1. リカレント、リスクリング教育の推進	1) リカレント・リスクリング教育のための体制構築	(1) リカレント・リスクリング教育のための方針を策定する (2) リカレント・リスクリング教育のための制度や体制を整備する (3) リカレント・リスクリング教育を実施する	●	●	●	●	●	開講講座数、参加者数、参加教員数
5. 地域の交流拠点としての取組みを強化します。											
			1. 地域の交流拠点としての機能強化	1) 地域の交流拠点としてのキャンパス整備	(1) 大学キャンパスを地域交流の場とする構想案を策定する (2) 地域交流イベント等を学内で企画し、実施する (3) 施設貸出方針を見直す	●	●	●	●	●	イベント実施件数 貸出件数、分野別貸出件数

長期ビジョン	重点項目	中期目標	施策	具体的目標	実施計画					測定指標		
					2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度			
V 大学運営におけるビジョン～「実り」を実現する大学運営を～												
1. 教学マネジメント体制を確立します。												
	1. 教学マネジメント体制の確立		1) マネージメント体制の確立	(1) 役職者の権限と責任を明確化する	●							
					(2) 教学マネジメント体制における組織の位置付けを明確化する	●						
					(3) 中長期計画の策定・見直し体制を確立する	●	●					
					2) 評価体制の強化	(1) 事業活動に対する評価体制を確立する	●	●				
				(2) 自己点検・評価体制を強化し、学外委員会を立ち上げる	●	●						
				(3) 教育の質に係る客観的指標の得点を上昇させ、35点以上とする	●	●	●	●	●	指標の得点		
2. 教育、研究の活性化を促す組織体制の構築と教職協働を推進します。												
	1. 組織と体制の整備		1) 組織体制の改善	(1) 時代に合わせた学部・学科・研究科の再編と定員の設定を検討する	●	●	●	●	●			
					(2) 各センター・室等の組織を再編成する	●	●	●	●			
					2) 教職協働の推進	(1) 教育職員・事務職員の役割を明確化する	●	●	●			
						(2) 教職協働の体制を整備する	●	●	●			
	2. 意識の共有体制の構築		1) 効果的な情報共有体制の構築	(1) 学内での情報共有体制の見直し、情報共有しやすい体制を構築する	●	●	●	●	●			
					(2) FD・SD活動の参加者をそれぞれ全構成員の80%以上とする	●	●	●	●	●	FD、SD開催件数、参加者数	
					(3) 教学IRの機能を強化し、定期的に情報発信を行う	●	●	●	●	●	情報発信件数、フィードバック数	
3. 大学ブランディングを推進し、戦略的広報体制を強化します。												
	1. 大学の価値を向上させる取組みの強化		1) 大学ブランディングの推進	(1) ブランディングの目標を明確化する	●	●						
					(2) アウターブランディングの推進を強化する	●	●	●	●	●	発信件数	
					(3) インターブランディングの推進を強化する	●	●	●	●	●	発信件数	
					2) 広報体制の強化	(1) 戦略的広報を実現するための方針を策定し、体制を整備する	●					
				(2) 大学広報体制を強化する	●	●				リリース数、メディア掲載件数、ビュー数		
4. 卒業生連携を重視した松大コミュニティを構築します。												
	1. 卒業生との連携体制の確立		1) 松大コミュニティの構築	(1) 松大コミュニティの構築のための体制案を策定する	●	●						
					(2) 温山会との連携を強化し、共催事業を実施する		●	●	●	●	共催事業件数	